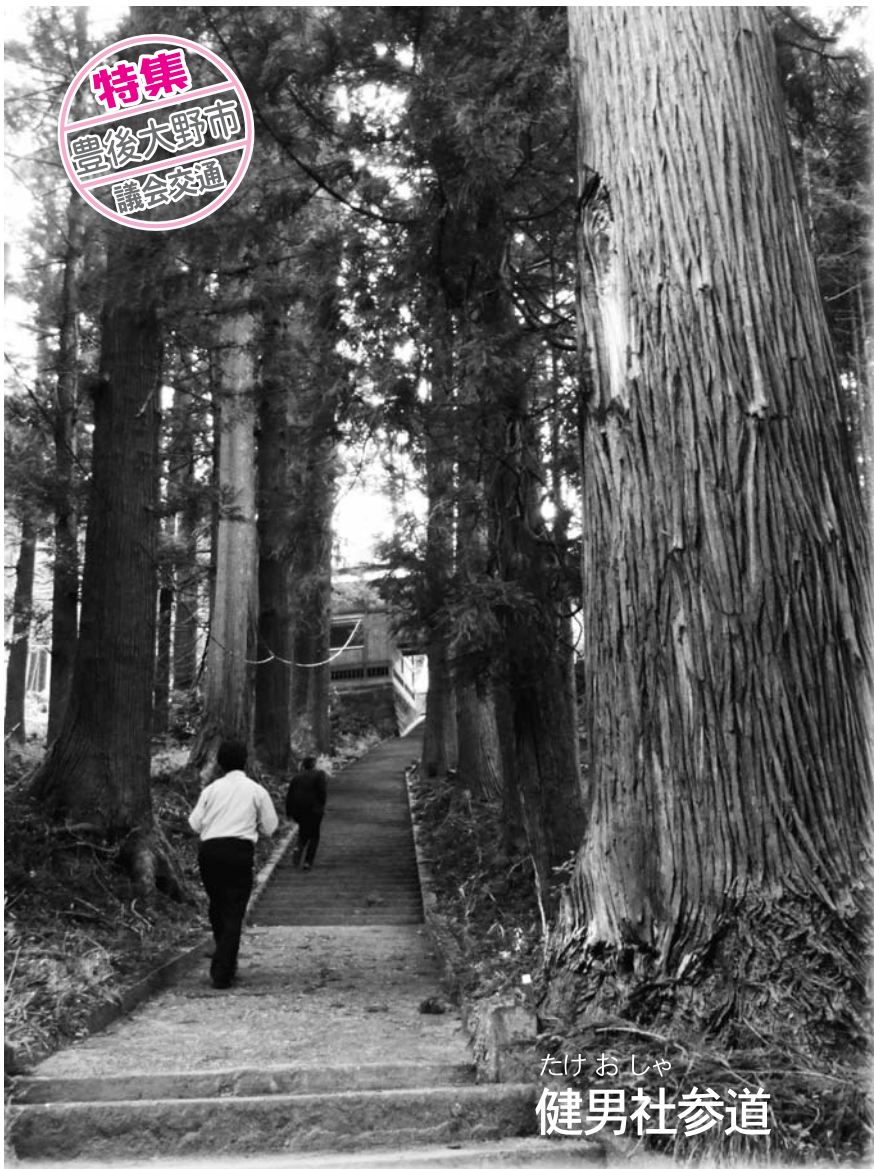
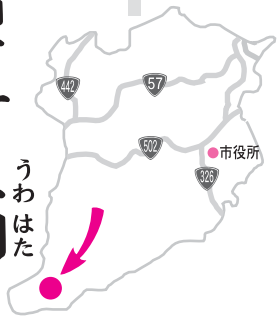


ふるさとを

訪ねて

緒方町上畑



たけおしゃ  
健男社参道



▲宮崎県高千穂町との県境にて案内をしてくださった地元の方々



▲上畑公民館では30名近くの方々と夜遅くまで語り合いました

今回のふるさとを訪ねては、緒方町上畑地区です。祖母・傾国定公園の入り口に位置し県道7号緒方高千穂線沿いに住居が点在しており、市役所から車で1時間30分ほどのところですが、大正から昭和の初期には、日本でも屈指の錫の産地として三菱尾平鉱山・豊栄鉱山(九折)がありました。最盛期には、約3千500人が生活をしており、当時は、「不夜城」と呼ばれるほど栄えた地域です。今では、尾平鉱山世帯数2戸、男性2人女性1人、上畑地区世帯数42戸、男性37人、女性47人。(平成18年4月1日現在)

この地区には、健男社(健男霜凝日子麓社)という旧郷社があり、樹齢600年以上の杉並木に囲まれた480段の石段を上り拝殿に向かいます。奥嶽流の上畑獅子舞が地域の大切な伝統芸能として残っています。

県道緒方・高千穂線は、谷が深く、大規模な落石がいつ起きても不思議ではありません。

災害復旧は、もちろんですが、抜本的な道路改良が望まれます。それにより、宮崎県高千穂町との交流・観光を期待する意見も多い。